

障害のある人の災害時支援に関して「提言」を行いました。

大津市障害者自立支援協議会では平成 29 年 4 月から防災プロジェクトを組織し「大津市で暮らす障害のある人の災害時支援」に関して検討を重ねてきました。

プロジェクトでは過去に起きた災害から学ぶこと、ご本人・ご家族から実情をお聞きし、より多くの方に「防災アンケート」をお願いして現状把握、課題集約を行ってきました。

皆様の協力を得てこのたび「防災に関する提言」を提出することができました。ありがとうございます。

ここに「防災に関する提言」と「防災に関する当事者、家族アンケート」の概略をお届けします。

引き続き当事者、家族、地域、関係機関、当事者団体、事業所の連携で災害時支援の充実を目指していきます。今後ともよろしくお願いいたします。

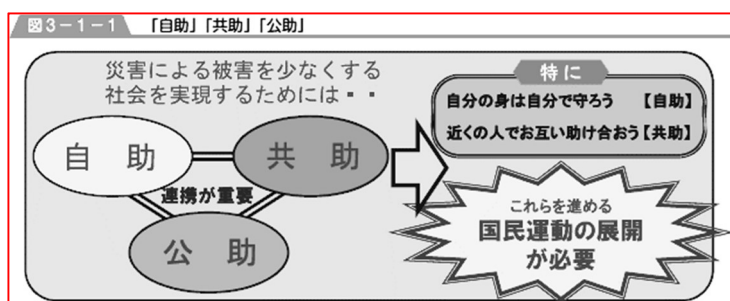
令和元年(2019)年 10 月 1 日 大津市障害者自立支援協議会 会長 藤木 充

防災に関する提言の概略

提言は、「自助」「共助」「公助」に分けて記述しています。それぞれの緊密な連携が重要であることは言うまでもありません。

(出典：内閣府ホームページ)

http://www.bousai.go.jp/kaigirep/hakusho/h20/bousai2008/html/zu/zu_1b_3_1_01.htm



提言 1・自助 当事者・家族が担うこと【日頃からの災害への備えと避難生活に必要なこと】

○被害を最小限にするため、備蓄や避難所等の把握が必要。支援に必要な情報を支援者に伝達する。

大津市では地域の避難支援等関係者に避難行動要支援者名簿に記載されている情報を提供することに対する同意確認を現在行っています。お手元にご案内の手紙が届いた方で、避難行動要支援者名簿の提供に同意される方は確認書を大津市にせひ返送してください。

○避難生活に必要な配慮事項を伝える。避難所以外の避難先を知らせる。支援を受ける際に重要。

提言 2・共助 地域や事業所で担うこと【過去の災害の教訓から地域住民どうしの支援が重要】

地域	避難に支援が必要な人の情報を把握し避難支援を想定し避難訓練を実施しておくこと。
事業所	具体的な避難訓練の実施。利用者の帰宅困難から一時的避難も想定。地域での役割も期待される。必要な人が地域で支援を受けられるよう避難支援が必要な人の地域への情報提供同意等に協力。
当事者 団体	過去の災害時に当事者団体の安否確認が支援に繋がった。当事者・家族、団体、事業所、公的機関が連携し協力することが重要。

提言 3・公助 【大津市の役割】

災害被害を最小限にするため、災害時支援が必要な人の情報を把握する。地域の障害者が情報を得るために、公的機関から障害に配慮した方法での情報提供が重要。

避難支援が必要な人の情報を自主防災組織や自治会に引き継ぐことや、地域の支援組織と当事者がつくる避難支援の計画を推進する役割が重要。情報を避難支援や避難所運営に生かすことも必要。

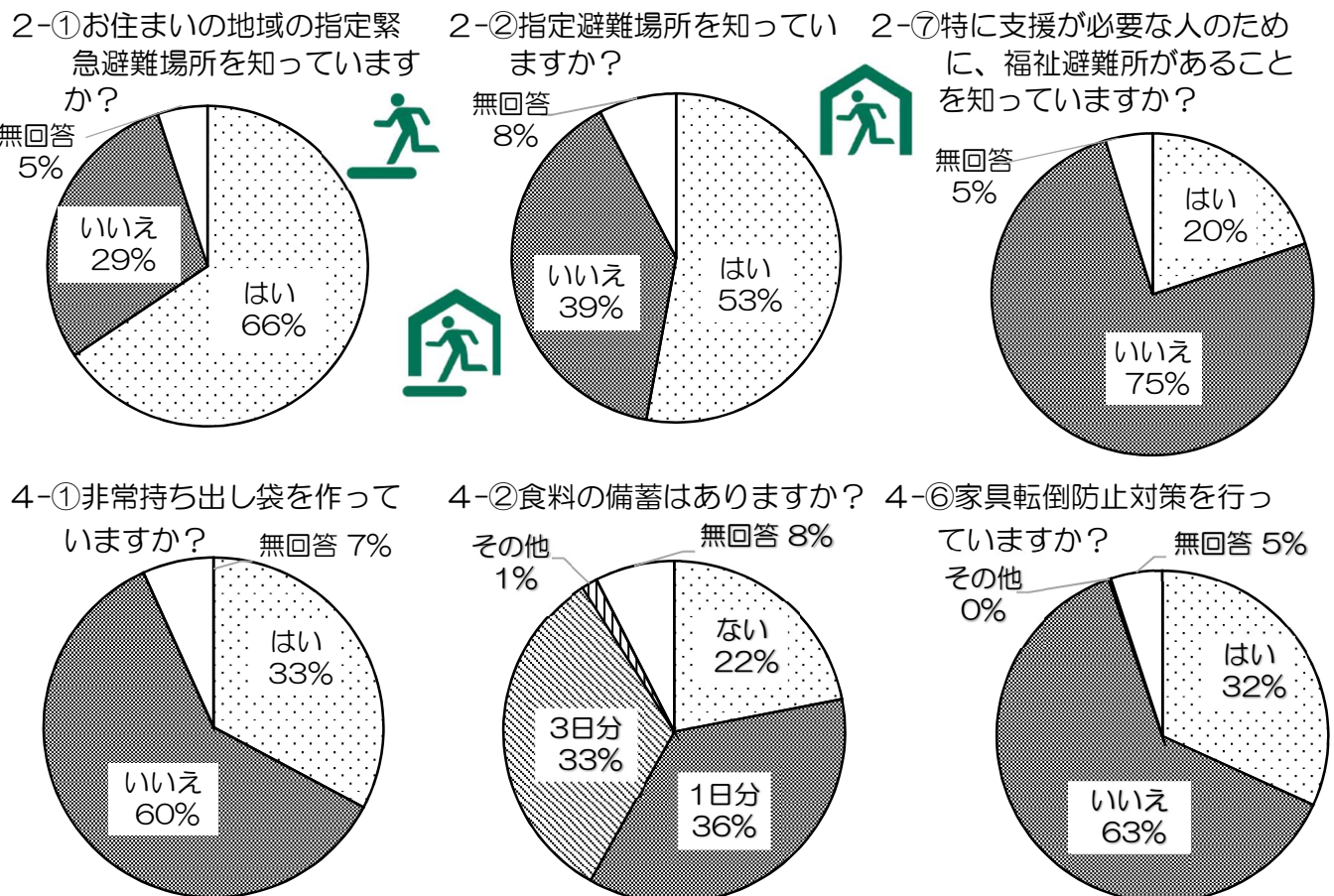
防災に関する当事者、家族アンケートの概略

実施期間：平成 30 年 8 月～9 月 アンケート回収率：54.3%（配布枚数：1,713 枚、回答数：930 件）
 アンケート配布先：生活介護(多機能型含む) 20 か所、就労支援(就労移行、生活訓練、A 型、B 型含む) 26 か所、
 北大津養護学校、草津養護学校、放課後等デイサービス 24 か所の当事者や家族、
 当事者(ヘルプ事業所や精神のサロンを通して)
 (補足)タイトルの番号はアンケートの項目番号。円グラフは、回答者の割合のみ表記

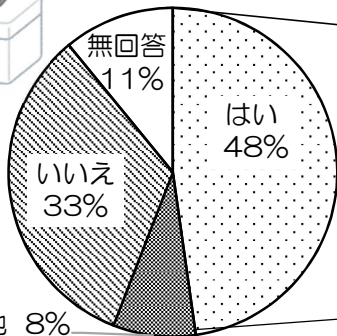
【アンケート回答者の概要】

- ①このアンケートのお答えいただいた方：本人 231、家族 670、その他 17、無回答 12
- ②障害のある方の年齢：6～9 歳 124、10～19 歳 237、20～29 歳 146、30～39 歳 146、
40～49 歳 143、50～59 歳 56、60～69 歳 41、70 歳以上 9、無回答 13
- ③障害のある方のお住まい：小松 49、木戸 9、和邇 20、小野 8、葛川 1、伊香立 5、真野 22、
真野北 16、堅田 53、仰木 5、仰木の里 16、仰木の里東 12、雄琴 14、日吉台 8、坂本 37、
下阪本 40、唐崎 43、志賀 33、比叡平 1、長等 32、藤尾 10、中央 9、逢坂 13、平野 27、
膳所 26、晴嵐 34、富士見 21、石山 30、南郷 30、大石 13、田上 17、上田上 6、青山 22、
瀬田南 39、瀬田 35、瀬田北 31、瀬田東 38、無回答 102、その他 3
- ④障害のある方の障害種別：視覚障害(全盲) 1、視覚障害(弱視) 33、聴覚障害 13、知的障害 574、
発達障害 239、高次脳機能障害 16、肢体不自由 117、重症心身障害 46、難病 16、
内部障害 10、無回答 30（複数回答）
- 移動手段：車椅子 103、杖 17、補装具 5、車椅子＋補装具 3、補装具なし 166、無回答 636
- 医療機器の使用：ある 44、ない 100、無回答 786
- 医療機器の種類：人工呼吸器 12、吸引器 21、吸入器 8、パルスオキシメーター 9、酸素濃縮器 11、無回答 15
- 常時介護：身体介護 123、見守り 220、必要ない 164、無回答 423（↑44 人 複数回答）
- 持っている手帳：療育 431、身体 57、精神 82、療育＋身体 115、療育＋精神 7、無回答 238

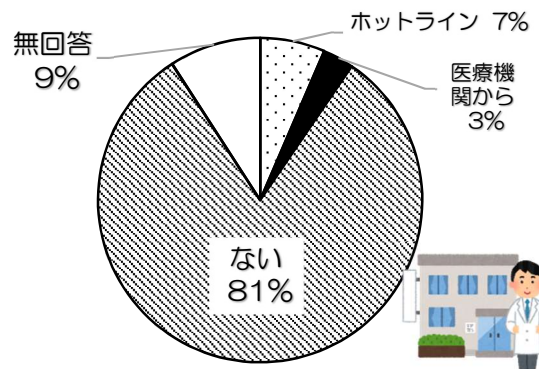
【日頃からの災害の備えに関して】



4-③薬の予備を自宅に備蓄しますか？

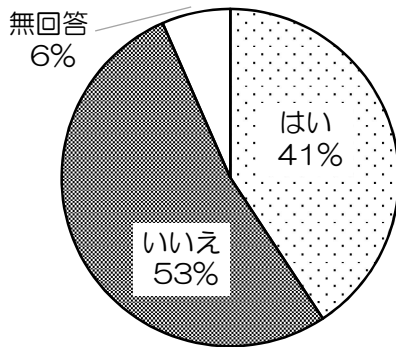


4-⑤災害時の医療機関との連携を図る手段はありますか？

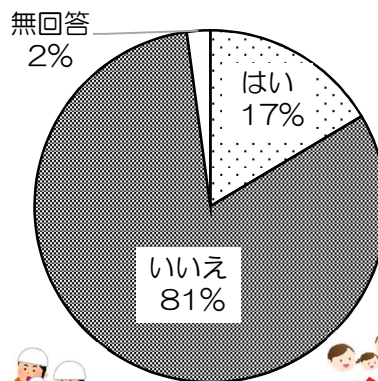


【地域に関して】

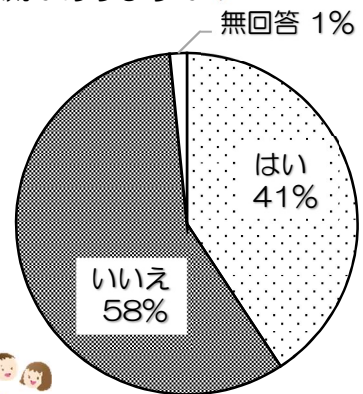
2-⑥近所の方は、避難時に支援が必要であることを知っていますか？



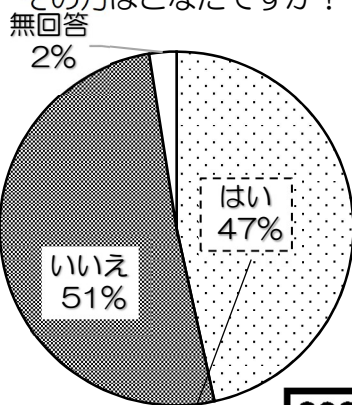
3-①日頃、民生委員との交流がありますか？



3-②日頃、隣近所や地域の方と交流がありますか？



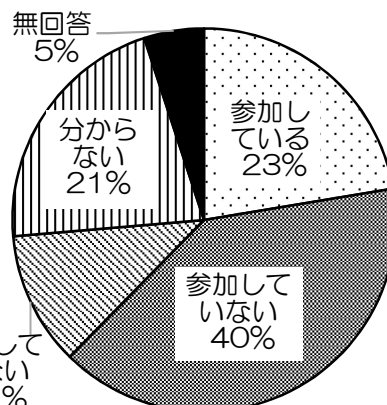
3-③④緊急時に助けを求められる近所の方はいますか？
その方はどなたですか？



「はい」 433 人

- ・隣近所 366
 - ・民生委員 64
 - ・自治会役員 45
 - ・その他 37
 - ・無回答 17
- (複数回答)

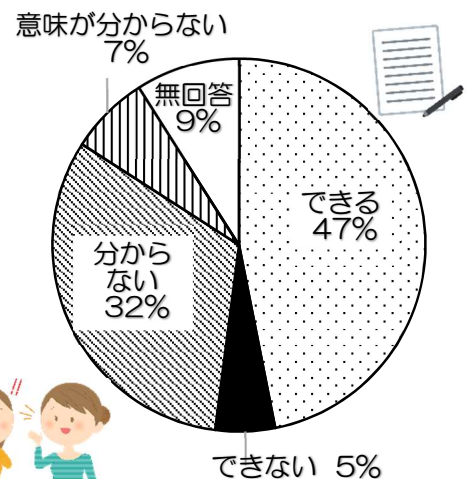
3-⑤地域の避難訓練に参加していますか？



実施していない 11%



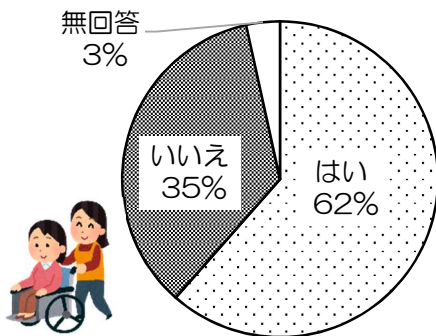
3-⑥避難の支援や安否確認のために必要なあなたの情報を地域の民生委員や自主防災組織に提供することができますか？



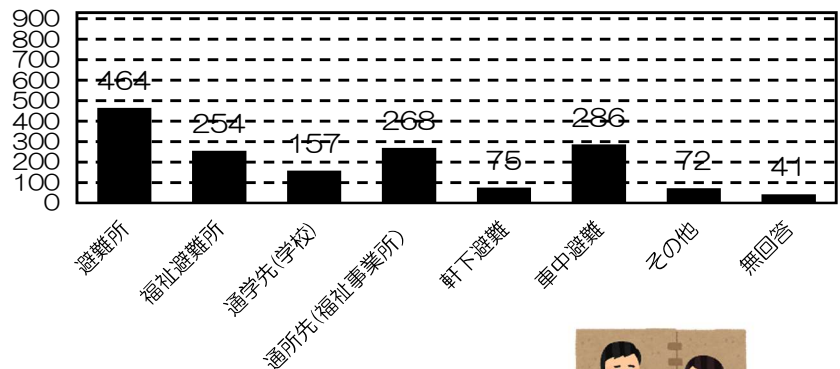
防災の日

【共助・公助 避難生活に必要なこと】

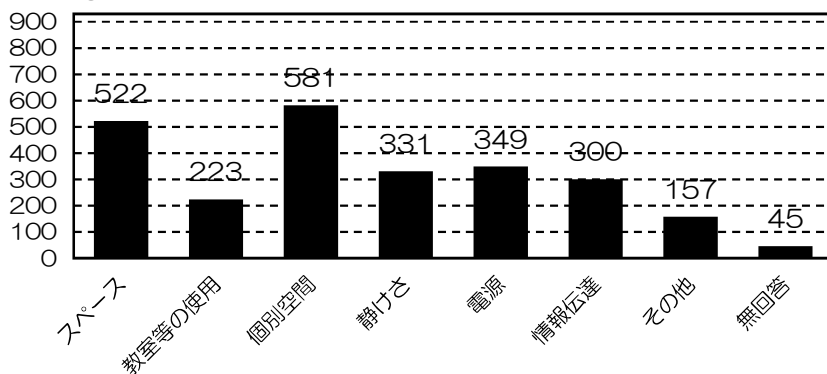
2-⑤災害時、避難するときに
支援が必要ですか？



2-③自宅で避難できない時どのような避難を考えておられますか？希望されますか？（複数回答）



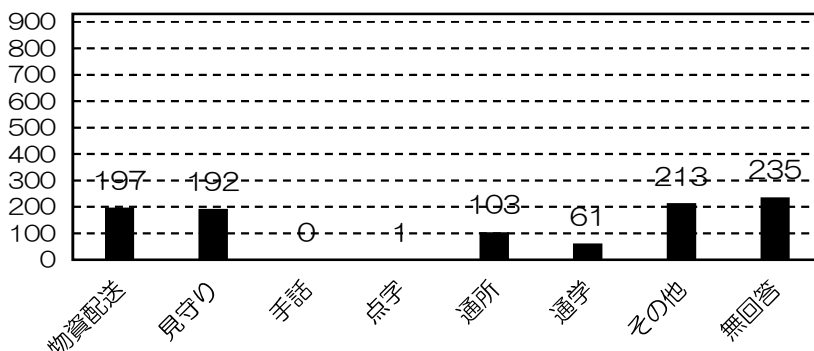
2-④指定避難場所にはどのような配慮や設備が必要ですか？（複数回答）



「その他」 ※要約項目のみ記載
 ●排泄、食事、日用品、冷暖房など
 ●移動・介護
 ●発作対応、薬、医療スタッフなど
 ●障害への理解者、見守り
 ●避難所は困難
 など

【公助 避難中のサービス利用について】

5.避難中のサービス利用についてどのようなサービスを希望するかお書きください。
 （避難直後、一定時間経過後合わせて記入（複数回答））



「その他」 ※要約項目のみ記載
 ●薬の確保・投薬支援・通院の支援
 ●食事への配慮 ●移動・介護
 ●場所への適応
 ●専門スタッフの確保・配置
 ●情報提供・コミュニケーション支援
 など



【防災に関して、日頃感じていること】

（※要約項目記載、()は回答数）

6 その他防災に関して、日頃感じておられることを、自由に記述してください。

- 自助：近年発生した災害について(6)、災害への備えの必要性(47)、災害への備えについて(45)、災害の備え等関する疑問等(10)、災害に関する認識や情報(6)
- 共助・公助：地域との連携に関して(37)、 防災・支援計画(12)、災害時支援・安否確認(10)、避難所等(10)、マスコミへの意見(3)、福祉避難所について(12)、福祉サービス(2)
- 災害発生時に関して：発生時の対応・災害情報収集(30)、当事者が1 人の場合の対応(26)、別々にいる時、はぐれた時(14)、災害発生時の避難について(59)、避難先、避難所での過ごし(31)、災害時の物資・ライフライン(9)
- その他(5)

アンケート詳細(未掲載の自由記述等を含む)は大津市障害者自立支援協議会ホームページに掲載中

